

越境する美術 変容する文化

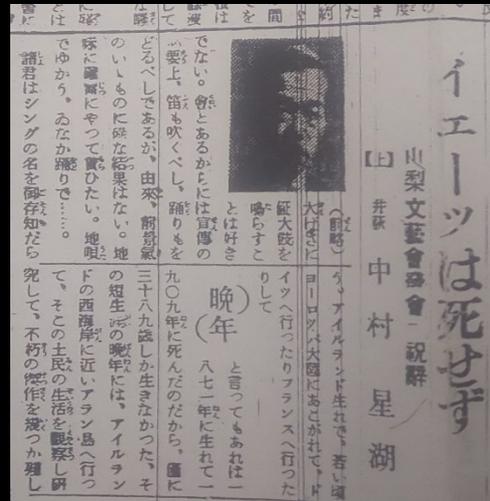
2021年1月21日(木)、14:00~

ズーム配信 ミーティングID **891 1978 0459**

パスワード **hibun**

聴講自由・事前申込不要

問い合わせ：比較文学研究室(内線2168)



2021年1月21日(木)、14:00～、ズーム配信
ミーティングID 891 1978 0459 パスワード hibun

阪大比較文学会シンポジウム —越境する美術、変容する文化—

14:00～14:05 開会の辞 橋本順光

第一部 研究発表

14:05～14:35 朴秀浄

「性科学とセクシュアリティの告白—日本と韓国の事例を中心に—」

14:35～15:05 パフチャレク・パヴェウ

「草間彌生の文学と美術における「ナルシス」のモチーフ」

15:05～15:35 エスカンド・ジェシ

「日本のデータベースファンタジーにおけるカトブレパスの文化移転」

15:35～15:55 胡恒穎

「大正浪漫化された植民地博覧会—台湾博覧会と『北城百画帖』」

15:55～16:15 富永梨紗子

「翻訳としてのジョン・ラファージ『観音の瞑想』—涅槃と永遠の女性—」

16:15～16:30 休憩

第二部 講演と講評

16:30～17:05 鈴木暁世

「戦時下日本の国策とアイルランド文学—「英学史」の再検討に向けて—」

17:05～17:40 橋本順光

「霊媒画は能の如く—イエイツ・降霊会・久米民十郎—」

17:40～18:20 講評と質疑応答

講評者：エリス俊子(東京大学)・橋本順光(大阪大学)・鈴木暁世(大阪大学)

18:30～18:35 閉会の辞 橋本順光

総合司会 西元まり

主催：大阪大学大学院比較文学研究室

共催：JSPS科研費(18K00314)